

## あかねが丘学園学習体系の見直しについて

現在の高齢者の生き方や学習ニーズの多様化に対応できるよう、次のとおりあかねが丘学園の学習体系を見直します。

### 1 見直しの理由

人生100年時代といわれる現在、60歳を過ぎても仕事をはじめ様々な活動が続ける人が多くなり、学習内容や学ぶ手法も自分の生活スタイルに合わせた多様な学びが求められています。

一方、現在のあかねが丘学園は、昭和50年頃開設された高齢者大学の流れをくみ、定年退職やこどもの独立などにより時間に余裕ができた高齢者の居場所づくりと地域社会活動を担う人材育成という視点に立った学習体系となっています。

開設当初は多くの高齢者のニーズに適ったものでしたが、高齢者が多様な生き方を選択する現在にあっては、昔のように時間的に余裕のある高齢者しか利用できないことや、学生全員が「ボランティア活動」や「地域活動」を行うカリキュラムへの敬遠などから、年々学生数が減っている状況となっています。

そこで、できるだけ多くの高齢者が、自分にとって必要な学習に取り組めるよう、さらに、現在のコロナ禍で生活様式が変化するなかにあっても、自分に合った学び方を選択できるよう、学習体系を見直すものです。

なお、令和3年度より開設している「あかねカレッジライトコース」を含めた本市で行う高齢者学習全般を「あかねカレッジ」として総称し、学びのステップアップができるような新しい高齢者学習体系へ移行します。

### 2 学習体系の概要

#### (1) 現行の学習体系（令和5年度まで）

- ・3学年制 5コース 令和3年度在籍者数 251人  
(音楽交流、景観園芸、ふるさと創造、健康ライフ、陶芸文化)
- ・毎週月曜日にコース別講座を受講。
- ・2年生からはカリキュラムに体験的地域活動がある。
- ・他の曜日はボランティア活動やクラブ活動などを行う。

## (2) 新しい学習体系（令和3年度から順次実施）

「あかねカレッジ」に下記のコースを設定します。各コースはすべて1年制となります。

### ① 「ライトコース」

中学校コミセンを会場とし、令和3年度から実施しています。

中学校コミセンで行われていた高齢者大学を統合し、ウィズあかしからオンライン発信する教養講座及び各コミセンが実施する各種講座（約300講座）から自由に選択でき、一部講座ではオンラインでの自宅受講も可能とし、多くの高齢者が気軽に参加しやすいカリキュラムとしています。

### ② 「科目別コース」

これまでの5つの「専攻コース」に代わり、より専門的な10～15程度の「学科」を設定します。自己実現を目指す中にも、地域での活動への動機づけとなるような内容も盛り込みます。※別紙1参照

### ③ 「地域 de 活用コース」

自身のキャリアや科目別コースなどで習得した専門性を地域で活かせるよう、実践も交え具体的に学ぶ講座とします。（希望者のみ）※別紙参照

これらのコース設定により学びのすそ野を広げつつ、コース間によるステップアップにより、高齢者の自己実現をサポートします。

さらに、学びを通じた地域活動への参加と、活動を通じた新たな学びにつながる高齢者学習を展開します。

	あかねカレッジ		
コース名	① ライトコース	② 科目別コース	③ 地域 de 活用コース
開始予定年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開催場所（会場）	中学校コミセン	生涯学習センター他	生涯学習センター
修業年限	1年	1年	1年
定員	設定なし ※講座ごとの定員は有	300人程度	20人程度
目的	参加のハードルを低くし、受講者層の拡大を図る。	自分の興味や得意な分野から専門性を身に付け、スキルアップを図る。	地域リーダー育成を目指す。

## (3) コーディネートセンターの設置

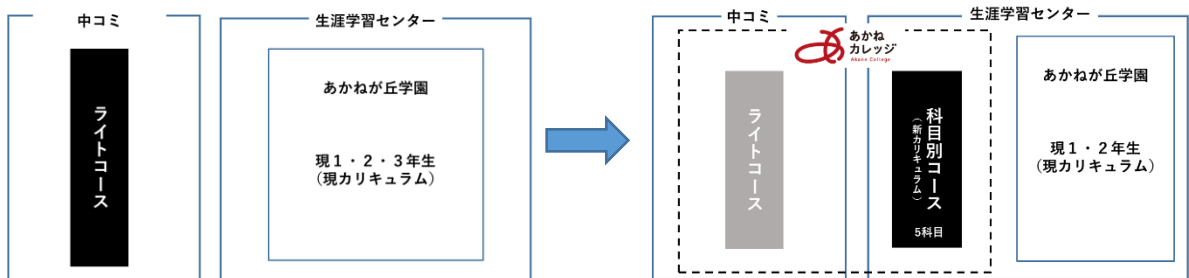
市内の高齢者学習や活動について様々な情報を収集・提供し、コミュニティ創造協会や中学校コミセンのエリアマネージャーと連携しながら、高齢者の生涯学習に関する相談や支援を行います。

- ① 入口支援：市内の高齢者を対象に、学びたいこと・活動してみたいことなどについて相談を受け、その人に応じた学習ができるようコーディネートします。
- ② 出口支援：あかねカレッジの受講者を対象に、コース修了後の活動について相談を受け、活動先を紹介するなどのコーディネートを行います。  
また、在校生・卒業生の自主的な活動を支援するため、登録制度により、団体への備品貸し出しなどを行います。

### 3 新しい学習体系への年次計画

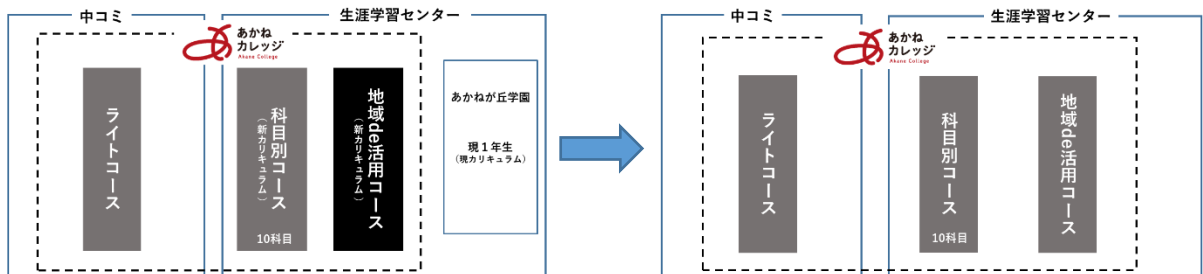
令和3年度（2021年度）

令和4年度（2022年度）



令和5年度（2023年度）

令和6年度（2024年度）



(別紙)

### 科目別コースの設置学科について (案)

区分	学 科	内容例	修了後の活躍例	定員	開始年度
音楽	ボイス トレーニング学科	発声法の基礎やハモる(和声)楽しさを学ぶことで、声での表現を身につける科目	・保育所等慰問活動 ・音楽療法活動	30	令和4年度
	器楽学科	様々な楽器に触れて、興味のある楽器を見つける科目	・保育所等慰問活動	20	令和5年度
園芸	花づくり学科	植物の成長や園芸の手法について学ぶ科目	・公園愛護会 ・花壇ボランティア	30	令和4年度
	野菜づくり学科	野菜づくりのノウハウについて学ぶ科目	・みんな農園 ・子ども食堂	30	令和5年度
地域学	あかし地域学科	明石の歴史文化についての講義を受けたり実際に現地に行ったりして学ぶ科目(参考:あかし版プラタモリのようなもの)	・観光ガイド	30	令和4年度
健康福祉	健康づくり学科	高齢者が元気で暮らすための体操方法や気をつける病気などについて学ぶ科目	・認知症サポーター ・地区社協・民生児童委員	40	令和4年度
新分野	ものづくり学科	クラフトや手芸、陶芸などのものづくり全般を学ぶ科目	・まち協子ども部会 ・ものづくりサロン	15	令和5年度
	広報デザイン学科	パソコンで作成するチラシやPOPなどを作成する科目	・まち協広報部会 ・ボランティア団体	15	令和5年度
	自然環境学科	自然の中で、身近な防災の視点や環境保全を学ぶ科目	・ボランティア団体	30	令和5年度
	サイエンス学科	天文や科学などについて学ぶ科目	・サイエンスカフェ	20	令和4年度

### 地域 de 活用コースについて (案)

コース内容	定員	開始年度
自身のキャリアや学んだことを地域で活かす方法を学ぶことを目的に、地域情報の獲得方法や、地域とのつながり方を学ぶコース	20	令和5年度